

三豊市の歌

「七宝のかぜ」で心ひとつに

七宝のかぜ

作詞 関 秀明  
作曲 中西圭三  
編曲 小西貴雄

讃岐の峰よりさす朝日  
めぐる季節の彩りを  
緑の大地に映し出す  
このまちで出会い  
笑顔溢れる人の和に  
輝く未来にのびるまち

紫雲出の山に瀬戸の風  
行き交う小舟の白波に  
歴史と文化の花薫る  
このまちで生まれ  
包んでくれるやさしさに  
輝く希望が開くまち

三豊の大地を潤して  
黄金なりき稲穂らも  
祭りの太鼓にときめいて  
このまちで暮らし  
このまちに集う  
水と緑の故郷は

このまちで暮らし  
このまちに集う  
水と緑の故郷は  
輝く文化が育つまち

明日に向かってのびるまち



平成22年5月16日、三豊市の歌『七宝のかぜ』の完成を記念して、三豊市の歌発表式典&中西圭三ミニコンサートをマリナーズホールで開催しました。七宝のかぜは、先般、小学生から91歳までの皆さんから寄せられた246作品の中から選ばれた関秀明さん（豊中町）が作詞した歌詞にシンガーソングライターの中西圭三さんが作曲しました。式典では、市長が「市民が一体となれる待望の歌が完成しました。みんなで歌い続けていきましょう」と述べたあと、中西圭三さんが市の歌を独唱。また、会場に集まった約700人の市民の皆さんと一緒に市の歌を大合唱し、完成を祝いました。

三豊市の歌に込められた思い



作詞 関 秀明 氏  
(豊中町)

7つの町のそれぞれの特色に想いがあふれ、まとめるのに苦労しましたが、歌詞の中に「光・水・緑」の言葉を使ってひとつのストーリー性を持たせました。光というのは財田の山から見た朝日。その射す光が、四季折々の三豊平野の景色に彩りを添えていくこと。緑というのは三豊平野全体を表しています。水は詫間、仁尾の瀬戸内の海。また、香川用水の整備が整い、宝山湖ができた水の豊かさを織り込みました。皆さんの愛唱歌として末永く歌われることを願います。



作曲 中西 圭三 氏  
(シンガーソングライター)

関さんの歌詞は、景色が浮かんでくる、心の奥底に広がっていくとてもやさしい愛のこもったすばらしい歌詞です。長く長く歌っていたただける歌にしたいという思いから、市内各地を巡りました。紫雲出山の上から見た瀬戸内の景色などが心に深く刻み込まれ、肌で感じた三豊の景色をこの曲に詰め込みました。ぜひ、この歌を愛していただいで皆さんで大きく大きく育ててほしいと願っています。

♪=94

G Am D7 G Cm9 G E7  
さぬきのみねよりさすあさひめぐるきせつーのい

Am D7 D7+5 G Am D7 G  
ろどりをみどりのだいにうつつだす

Cm9 G G#dim Am D7 G  
このまちでであーいこのまちでかたる

CM7 Bm7 Em7 Am7 B7 Em9  
えがおあふれるひとりのわにみずとみどりのふるさとはか

CM7 Bm Bm7/A Bm6/G# Am D7 G  
がやくみらいにのびるまち